

Yell ～絆を深めて Keep Smile～

第13号 令和2年6月9日(火)

分散登校だからこそできることを考えました!

毎日学校に来ることはできませんが、担任と子ども達全員が一つになり、つながっていてほしい…。

一日一日を大切にしたい、と子どもファーストで考えている担任の先生方の思いを形にしたい、と考えて企画しました。

今回は、5年生の先生方の思いをお伝えします。



5年1組 佐伯 利恵

Aグループ(1～5支部)の皆さん、Bグループ(6～8支部)の友達が、月曜日元気に登校しました。

朝の挨拶の時、「わ!少ない!」と、ある友達が言っていました。しかし、少ないのに、学習中は、とても元気でびっくりしました。

5年2組 宮本 奈々美

Aグループの皆さん、今日はBグループの友達が登校しました。人数が少ないので、教室ががらんとして、寂しい感じがしました。

でも、宿題忘れが1人もおらず、学習態度も大変すばらしかったです。学校に来ていない間、自主学習に取り組んでいた友達もたくさんいましたよ。

「分散登校になっても、自分の力をしっかり出して頑張るぞ!」という気持ちが伝わってきました。

教室には新しい仲間が増えました。

「Aグループのみんなと協力して育てたいな。」

という話もしていました。

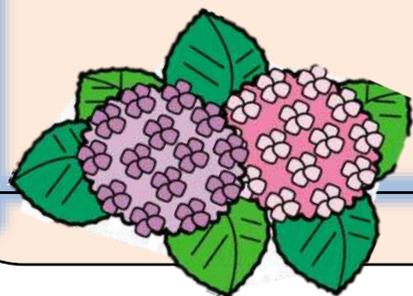
一人一人が今できることをしっかり積み重ねて、力をたくわえましょう。



5年3組 河堂 貴人

昨日は、Bグループの登校日でした。分散登校で、AとBに分かれての授業の様子を見て、気付いたことがあります。それは、同じ授業でもグループによって雰囲気異なること。

AグループとBグループで、盛り上がる場面が違ったり、疑問に思う場面が違ったりするなど、とても興味深いと感じました。分散登校中に、AグループとBグループがした内容を交流するのが今から楽しみです。



分散登校特集：先生たちは6回教えます！？



こちらは6年生の教室の様子です。分散登校のため、子ども達もまばらです。

教科担任制のため、高学年の先生方は通常でも3回同じことを指導しますから、今回は、何と同じ学習内容を6回も指導することになります。

ここで逆転の発想！せっかくの分散登校ですから、きめ細やかな指導をするチャンスです。国語科や算数科の学習では、一人一人が答えを導き出せるように丁寧に指導しています。平崎先生も村田先生も熱弁を奮っています。



社会科では、子ども達の思考の変容を見取りながら学習のスピードを変えて授業を進めることができます。



こちらは5年生。今まで以上に丁寧な個別指導！



この問題は、〇〇の方法で解くんだよ。

算数科の学習では「体積」の単元に入りました。「1㎡が〇こ分」の考え方をもとに、公式を作りました。

社会科の学習では、排他的経済水域などの難しい言葉が飛び交う中、担当の宮本先生が丁寧に指導していました。

国語科の学習では、河堂先生が、実物を使いながら分かりやすく解説していました。

少人数なので、個別指導も行いながら学習を進めています。



保護者の皆様、教室內では子ども同士の間隔を十分に広げています。

また、換気や水分補給など、お子様の健康状態には十分留意していますが、お気づきになったことがありましたら、どうぞお知らせくださいますようお願い致します。

